

$x^2 + 3x + 1$

▼目の不自由な方向  
のための音声コード



集まろう！手話の聖地・とっとり

鳥取県手話言語条例制定10周年記念

第10回

# 全国高校生 手話パフォーマンス甲子園

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

## 実績報告書

Supported by 日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION



## ちくじ 目次

・開催概要	03
・大会スケジュール	04
・開会式	06
・出演者紹介	11
・表彰結果	12
・表彰内容	14
・チーム演技	15
・ゲストパフォーマンス	22
・大会公式ソング	23
・バリアフリー対策	24
・会場の催し	25
・閉会式	26
・交流会	28
・予選審査会	30
・広報	32
・本大会審査実施要領	34
・手話パフォーマンス甲子園実行委員会	35



記載されたQRコード  
を読み取ると「手話パ  
フォーマンス甲子園  
☆動画チャンネル」で  
動画を視聴すること  
ができます。





# 開催概要

本大会は、4年ぶりの一般向けの観覧席を設けました。

ちくてき

## ● 目的

ろう者やろう者以外が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

にち じ

## ● 日時

令和5年9月24日(日) 9:30~16:10

かいじょう

## ● 会場

とりぎん文化会館 梨花ホール  
(鳥取県鳥取市高徳町101-5)

かいさいほうほう

## ● 開催方法

現地開催(一般来場あり)

・会場の様子を、YouTubeでライブ配信を行いました。(配信は、音声ガイドありなしの2種類を用意しました。)



しゅ さい

## ● 主催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

きょうざい

## ● 共催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

とく べつ きょうりょく

## ● 特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

とく べつ きょうざい

## ● 特別協賛

日本財団

しゅつじょう

## ● 出場チーム

15チーム(16校)

※令和5年4月24日(月)から6月30日(金)まで参加チームを募集したところ、37都道府県から69チーム(69校)の参加申込みがありました。審査員6名が演技動画視聴による審査を行った後、7月27日(木)、28日(金)に予選審査結果についての審議を行い、地方ブロック枠6チーム、得点順枠6チーム、初出場枠3チームから選出の計15チームを選出しました。

こうしつ

## ● 皇室のおことば

佳子内親王殿下から、おことばを賜りました。

こう こう せい

たい かい





## ● 高校生による大会づくり

総合司会、演技司会、運営ボランティア、大会PRなどに多くの地元高校生が携わりました。大会告知ポスターデザインも高校生から募集し、最優秀賞に選ばれた作品を使用しました。



たい かい

# 大会スケジュール

時刻	内容	
9:30～	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングアクト</li> <li>・大会公式ソング「シュワシュワ。」</li> <li>・主催者あいさつ</li> <li>・おことば</li> <li>・特別協力団体あいさつ</li> <li>・特別協賛団体あいさつ</li> <li>・出場チーム紹介</li> <li>・選手宣誓</li> </ul> <p>審査員紹介 審査方法紹介</p>	 
10:15～	<p>出場チームによるパフォーマンス(前半8チーム)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 竹園高等学校(茨城県)</li> <li>2 栃木県立聾学校(栃木県)</li> <li>3 久米田高等学校(大阪府)</li> <li>4 松山聾学校(愛媛県)</li> <li>5 大宮ろう学園(埼玉県)</li> <li>6 済美平成中等教育学校(愛媛県)</li> <li>7 秋田県立聴覚支援学校(秋田県)</li> <li>8 鳥取聾学校(鳥取県)</li> </ol> <p>※栃木県立聾学校は、参加が困難となり欠場</p>	 
11:55～	休憩	



時刻	内容
13:00～	<p>出場チームによるパフォーマンス(後半7チーム)</p> <p>9 田鶴浜高等学校・石川県立ろう学校(石川県)</p> <p>10 杏和高等学校(愛知県)</p> <p>11 奈良県立ろう学校(奈良県)</p> <p>12 熊本聾学校(熊本県)</p> <p>13 明誠学院高等学校(岡山県)</p> <p>14 坂戸ろう学園(埼玉県)</p> <p>15 青森聾学校(青森県)</p> <p>審査員長講評</p>
14:45～	<p>ゲストパフォーマンス</p> <p>・手話チャレキッズ (鳥取県立鳥取聾学校小学部・鳥取市立宮ノ下小学校)</p> <p>・手話のWA ダンスでつながる手話の仲間プロジェクト (鳥取県立地産総合技術高等学校・鳥取市立静風小学校)</p> <p>・韓国・聖修(ソンス)女子高等学校の 手話パフォーマンス</p> 
15:30～	<p>審査発表／表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県聴覚障害者協会賞</li> <li>・日本財団賞</li> <li>・全日本ろうあ連盟賞</li> <li>・審査員特別賞</li> <li>・第3位</li> <li>・準優勝</li> <li>・優勝</li> <li>・手話パフォーマンス奨励賞</li> </ul> <p>審査員長講評 閉会あいさつ フィナーレ</p>  
16:10	閉会



しえいしよ

●主催者あいさつ

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 **平井 伸治**



本日、ここに第10回全国高校生手話パフォーマンス甲子園を開催することができ、全国各地から出場校をはじめ数多くの皆さまにこのようにお集まりいただき、心から歓迎申し上げます。

また、本日は大変お忙しい中にもかかわらず、石野理事長、下垣理事長、前田専務理事をはじめ数多くのご来賓の方々にお越しいただき、本当に感謝を申し上げます。

本日、佳子内親王殿下におかれましては残念ながら新型コロナウイルスということで、心からお見舞いを申し上げますとともに1日も早いご回復をお祈り申し上げます。

ここ鳥取県におきましては手話言語条例が制定をされて10周年になりました。現在は手話フェスも開催中でございます。この手話パフォーマンス甲子園もその記念の大会となるわけでありまして。本日出場される学校の皆さまが素晴らしい

演技をされることで、手話の大切さを広めることにもなりますし、また障がいを知り、共に生きていく。そういう社会を作っていく助けにもなるわけでございます。ぜひ素晴らしい演技で優勝を目指して頑張っていたきたいと思います。

ここ鳥取県では、台風7号により大きな被害を被りました。全国各地で様々な災害が続いております。被災された皆さまに心からお祈りを申し上げたいと思います。しかし、人々が協力し合ひまして、ここにおきましても迅速な復興が進んでいる状態でございます。

三朝温泉というところがございますが、そこでの大変な被害が報道されたこともあり、お客さまが減ってきているという状況が生まれております。しかし、宿の方も頑張って復興してまいりましたし、また、大変人気がある河原風呂、これも元通りに戻ったところがございます。

ですから、「とにかく明るい安村」さんと一緒に নিয়ে আসতে হবে 復興のアピールをさせていただいております。

「安心してください! (温泉、) 入れますよ!!!」

ぜひ、いろいろと旅を楽しんでいただきたいと思いますし、鳥取の食、おいしい食べ物、これも楽しんでいただきたいと思います。

皆さまにとりまして素晴らしい大会となりますことを心からご祈念申し上げ、そして皆さまのお力で手話に対する理解が深まっていくそういう大会になればと願っているところであります。

誠にありがとうございます。



か こ ないしんのうでんが

## ● 佳子内親王殿下おことば



本日は、突然出席することができなくなってしまいました。皆様にお会いすることが叶わず、本当に残念です。今日のために用意していた内容をご紹介します。

本日、「鳥取県手話言語条例制定10周年記念 第10回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が開催されたことを大変うれしく思います。

今回は、「手話パフォーマンス甲子園」が初めて開催されてから10回目という節目の大会です。この10年間、主催者や、高校生、ボランティアなど、多くの方々が心を込めて大会を支えてこられました。これまで大会を支えてこられた皆様に深く敬意を表します。私は、10年前の「第1回手話パフォーマンス甲子園」で、思いのこもった素晴らしいパフォーマンスを見て、とても感銘を受けました。その後も、出席した1つ1つの大会が、どれもとても大切な思い出として心に残っています。

本年の予選には、今までで最も多い69チームが参加しました。その中から選ばれた15チームの皆様、おめでとうございます。皆様が、今日のために、日々準備を重ねてこられた中では、嬉しいことも、大変なこともあったと思います。仲間と共に舞台を作り上げたことや、目標に向かって助んだ経験は大切な宝物になったのではないのでしょうか。この後の手話パフォーマンスで、これまでの努力の成果を十分に発揮し、最高のパフォーマンスができるよう応援しております。

鳥取県は、10年前に、全国で初めて手話言語条例を制定しました。その後、手話言語を通じた共生社会を目指して、学校、職場、地域で、手話言語を普及するための様々な取り組みを行ってきました。9月16日から今日までの1週間は、「手話で広がるエンターテインメント」をテーマとして、様々な人が手話に出会い、誰もが楽しむことができるイベント「とっとり手話フェス」も開催されています。

様々な取り組みやこの大会を通して、手話言語や、きこえないこと、きこえにくいことに対する社会全体の理解がさらに深まり、誰もが安心して暮らせる社会になることを、誰もがより幅広い選択肢を持てる社会になることを、そして、これらがあたりまえになることを願っています。

終わりに、手話パフォーマンスをきっかけにできた交流の輪がますます広がっていくことを、また、この大会が皆様にとって素晴らしい思い出となることを願い、私の挨拶といたします。ありがとうございました。



# 開会式

とくべつきょうりょくだんたい  
●特別協力団体あいさつ

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長

いしのふじまぶろう  
石野 富志三郎



本日、第10回全国高校生手話パフォーマンス甲子園が関係者の皆さまのご尽力により開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会が最初に開催されました2014年の前年には全国で初めてとなる手話言語条例が、ここ鳥取県で施行されました。今でこそ、手話が一つの言語であることは広く知られるようになりましたが、10年前はまだまだ理解が進んでいなかったため条例が制定されたことは、私たちにとって大きな喜びであるとともに大きな一歩となりました。

10年という長い月日をかけ私たちが願ってやまない手話言語の施策を推進する法律の成立まであと少しというところまでたどり着きました。これは、全国のきこえない、きこえにくい仲間たちがともに活動を続けてきたところ、手話言語条例が全国各地で成立したことが後押しとなりました。

特に今年は節目の年となり、初めて「手話で広がるエンターテインメント」をテーマにしたとっとり手話フェスも開催されています。このようなイベントを通して、地域に住む方だけでなく全国の方々の手話言語に興味関心を抱いてくださることを期待しております。

また2年後には東京2025デフリンピックが日本で開催

されます。ここ鳥取県において昨年7月に応援宣言をいただきました。これから、デフリンピックへの動きは加速し、日本全体で活発化していくことと思います。

9月3日には、きこえない、きこえにくい中高生の投票により大会エンブレムが決定しました。若い皆さんにも、このような形でデフリンピックに関わっていただいています。今後も様々なイベントが増えていきます。ぜひ、デフリンピックに興味関心を持っていただき、きこえない人々と交流を深めていただきたいと思います。

最後になりましたが、高校生手話パフォーマンス甲子園への参加を目指された全国の高校生の皆さん、出場を勝ち取った高校生の皆さんのために本大会の開催に日夜ご尽力されました鳥取県をはじめ、実行委員会関係者の皆さまにお礼を申し上げ、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。





とくべつきょうさんだんたい

特別協賛団体あいさつ

公益財団法人日本財団 専務理事

まえだ あきら  
前田 晃

第10回手話パフォーマンス甲子園の開催おめでとうございます。

日本財団は、きこえる人もきこえない人も共に生活できる社会の実現を目指し、手話言語に対する理解促進や電話リレーサービスの提供等に注力して参りました。

本年第10回を迎える手話パフォーマンス甲子園は、37都道府県から69チームが予選大会に参加され、初参加も23チームであったとのことですが、それぞれ過去最多の参加を得ることができたと伺っています。

コロナ禍では、練習においても多くの制約があり、何かと大変なご苦労があったと思います。しかし、コロナ禍によって新しいメリットが生まれたと思います。

それは、オンラインによる動画配信が一気に普及したことだと思えます。

全国の何処どこからでも簡単にアクセスし鑑賞することが可能となりました。また配信された動画を録画することで、リアルタイムで観られなかった人達が、いつでも鑑賞できるので、今回も全国から多くの人達にオンライン配信で鑑賞していただきたいと思えます。

本日は、それぞれのチームの皆さんに、どうか存分に楽しみながら日頃の練習の成果を発揮していただき

第10回大会を盛り上げてください。

会場の皆さんも、オンラインでご覧になる皆さんにも、手話による豊かな表現力を楽しんでいただけるものと期待しています。





# 開会式

## 優勝旗返還

坂戸ろう学園(埼玉県)

佐藤 絵梨花

大宮ろう学園(埼玉県)

野口 華楓

昨年の第9回大会 優勝チーム 埼玉県坂戸ろう学園の佐藤絵梨花さん、大宮ろう学園の野口華楓さんから、平井 伸治鳥取県知事へ優勝旗が返還されました。平井知事からは、代わりに優勝盾が佐藤さんと野口さんへ贈られました。



## 選手宣誓

杏和高等学校(愛知県)

瀬瀬 萌花

宣誓

私たちは、本日の第10回全国高校生手話パフォーマンス甲子園において、日ごろの練習の成果を発揮し、これまで支えてくれた家族、学校、仲間たちの期待に応えるため正々堂々手話パフォーマンスを行い、全力を尽くすことを誓います。

2023年9月24日

愛知県立杏和高等学校

瀬瀬 萌花





しゅつ えん しゅ しょう かい

# 出演者紹介

えん ぎ し かい しゅ

## 演技司会者



はやせ けんいちろう  
早瀬 憲太郎さん

ろう児対象の国語専門学習塾  
「早瀬道場」塾長、映画監督。  
元NHKみんなの手話講師。  
デフリンピックサムスン2017  
自転車競技日本代表。



まつだ さえ  
松田 沙慧さん

鳥取敬愛高等学校2年

そうごう し かい しゅ

## 総合司会者



なんば みなみ  
難波 南美さん

鳥取敬愛高等学校2年



のざか ゆい  
野坂 優衣さん

鳥取西高等学校2年



おちあいはやと  
落合 隼さん

鳥取西高等学校2年



むらかみ しんじ  
村上 真吾さん

NHK鳥取放送局アナウンサー

しん さい いん

## 審査員



ろう者

しょうぎ たかし  
庄崎 隆志さん  
演出家・劇作家・俳優  
審査員長



ろう者

おおたけ こうじ  
大竹 浩司さん  
一般財団法人全日本  
ろうあ連盟 副理事長



ろう者

か ず き  
KAZUKIさん  
俳優・  
ろう者手話パフォーマー



ろう者

ふじた か  
藤田 さや夏さん  
役者・パフォーマー



聞こえる人

かど ひでひこ  
門 秀彦さん  
絵描き



聞こえる人

なかにし きよか  
中西 浄華さん  
ダンサー



聞こえる人

たかい めぐみ  
高井 恵美さん  
劇団あしたの会



聞こえる人

すぎむら あい  
杉村 藍さん  
鳥取大学地域学部 教授



# 表彰結果

ゆうしょう

## 優勝

### 熊本豊学校(熊本県)

- 演技タイトル / 落語「附子」
- 演技内容 / 落語
- 審査得点 / 326点
- 演技順 / 12



じゅんゆうしょう

## 準優勝

### 坂戸ろう学園(埼玉県)

- 演技タイトル / 結を紡ぐ海～未来に～
- 演技内容 / 演劇・ポエム
- 審査得点 / 312点
- 演技順 / 14



## 第3位

### 杏和高等学校(愛知県)

- 演技タイトル / 雨ニモマケズ
- 演技内容 / ポエム
- 審査得点 / 293点
- 演技順 / 10





しん さ いん とく べつしやう

## 審査員特別賞

### 奈良県立ろう学校(奈良県)

- 演技タイトル / 私たちの物語
- 演技内容 / 演劇
- 演技類 / 11



ぜん にほん ろう あ 連 盟 賞

## 全日本ろうあ連盟賞

### 田鶴浜高等学校・石川県立ろう学校 (石川県)

- 演技タイトル / 石川の四季
- 演技内容 / ポエム
- 演技類 / 9



にっぽんざい だんしやう

## 日本財団賞

### 久米田高等学校(大阪府)

- 演技タイトル / 絆 ~Never Give Up~
- 演技内容 / ダンス
- 演技類 / 3



とっとりけん 聴覚 かくしやうが い しやきやうかいしやう

## 鳥取県聴覚障害者協会賞

### 竹園高等学校(茨城県)

- 演技タイトル / 人魚姫
- 演技内容 / 歌唱・演劇
- 演技類 / 1



しゅわ

しやうれいしやう

## 手話パフォーマンス奨励賞

前記以外の本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与しました。



# 表彰内容

しょうじょう

## 賞状



優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

## 優勝旗



## 盾



準優勝



第3位



手話パフォーマンス奨励賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞

## メダル



優勝、準優勝、第3位の選手全員に授与(鳥取砂丘にちなみ“砂のメダル”を授与)

## 副賞

優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞、手話パフォーマンス奨励賞受賞チームそれぞれに副賞が贈られました。